

2013・12

CHR

News Letter

うつ病の原因を考える

職場うつ病の原因は
「過労」よりも「上司」!?

トピックス

うつ病対策 奏功
自殺者3万人 下回る

「心の病」の会社員
3年間で2割増加

「心の病」労災認定最多
いじめ・セクハラ増加



職場うつ病の原因は「過労」より

「なぜうつになったか?」「そりゃ、オーバーワークでしょ」。でもその答え、ちょっと待った！
うつ病の原因は、上司にあるという研究結果と、職場の人間関係を表すアンケート調査から、うつ病

職場うつ病の原因が過労でなく 上司や職場環境であることを示す 研究を発表

オルフス大学(デンマーク) 臨床医学学科研究チーム
2013年10月30日

今まで、職場のうつ病は、仕事のプレッシャーや多すぎる仕事量に関係していると考えられる傾向であったが、職場うつ病の原因は「嫌な上司」や「平等でない職場環境」にあることを示す研究が発表された。

デンマークの公務員約4500人を対象のアンケートとうつ病と診断された人に個人面談を行ったところ、その多くが「職場で上司から不平等な扱いを受けている」と答えていた。

研究チームを率いたMatias Brodsgaard Grynderup博士によると「職場うつ病の患者は、不平等に多くの仕事を与えられていることが職場うつ病の原因であるにも関わらず、仕事量が多いから精神的にしんどいのだと思われ、また、病気のせい

割り当てられた仕事をこなせなくなってしまっているのに、病気の原因が多すぎる仕事量にあると考えてしまう」という。

これから「労働者が自身の職場環境をどう思っているのか」を把握することや、職場環境を改善することが、労働時間の減少よりも、職場うつ病のリスクを減らすことに効果的であると考えられる。

さらにGrynderup博士は「職場環境の改善が職業うつ病のリスク減少につながるとわかった今、透明性のある組織の仕組みをベースにした、労働者を対等に扱うマネジメントが職場うつ病を減らす上で重要になってくる」と述べている。

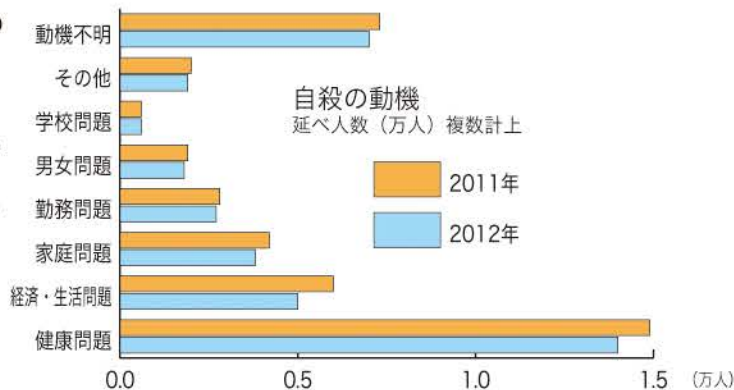
TOPICS

うつ病対策 奏功 自殺者3万人下回る

2012年の全国の自殺者が前年比9.1%減の2万7,858人と発表した。「健康問題」が6.8%減少、年代では60歳代が10.3%減少するも、17.8%と最も多くなっている。
動機は多いものから①健康問題 ②経済・生活問題 ③家庭問題 ④勤務問題 となっている。奏功した理由として内閣府は、うつ病患者や多重債務者に向けた国と自治体の総合的な予防策が効果を上げたとみられている。

経済的理由減る

2012年の自殺者は前年より9.4%減少し、15年ぶりに3万人を下回り3年連続の減少となった。動機別では「経済・生活問題」が前年比20%以上減少したことが、全体を引き下げたとみている。年間の自殺者は不況が深刻化した98年に急増した。「健康問題」「経済問題」の減少が、全体の減少に影響しているが、「勤務問題」は上記ほどの減少はみられない。



心の病の会社員

医療保険利用状況調査(厚生労働省)によると、2008年~2011年で心の病の患者数は8%の増加となっている。年代別では40代33%、30代30%

「心の病」労災認定

厚生労働省 2013年6月

職場における精神新疾患の労災で発症する事例が増加したといわれ、2012年に労災認定されたのは発症の原因は①「仕事内容・量の多い事故や災害体験51人と続く。そのうち「嫌がらせ、いじめ、暴加、「セクハラを受けた」18人増加が目立ったという。労災認定を受けた人のうち自殺